

一般社団法人 廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部

～ 平成29年度市民フォーラムと定期総会開催のご案内 ～

日本の国土は、昔から自然災害が多く、それに伴い実際数々の被害を受けてきました。また同時に、四季折々の恵みに畏敬の念を抱きながら暮らしても来ました。現在、市民の多くは都市に生活し、自然災害とは無縁であるかのように日々を過ごし、無防備な状態の中、大きな災害が発生すると非常に甚大な被害が予想されます。

東海・北陸支部では、平成23年5月21日に「中部からみた東日本大震災・緊急被災地報告会」と題して講演会を開催したのに始まり、昨年は「東日本大震災復興事業から学ぶ～環境教育活動へのヒント～」と題して現場視察及び報告会等も開催し「震災と環境教育活動」に取り組んできました。

その結果、今後は防災から減災へ考え方をシフトさせ、過去の歴史を生かして、災害に備える事がいかに重要であるかということ学びました。さらに「人」と「コミュニティ」を生かした復興まちづくりを通して「生きる力」を培う持続可能な発展のための教育も必要であります。そのためには、総合(科学)的な知識に基づく環境教育の推進が課題である事も痛感いたしました。

今回『減災連携活動に学ぶ ～南海トラフ大地震への備え～』を企画いたしました。南海トラフ大震災に備え、減災連携活動と災害廃棄物処理への取り組み方を学びます。また環境教育の推進に向けて、減災の視点に立って横断的に取り組んでいくヒントにします。

当日は、名古屋大学「減災館」の見学と、減災活動及び災害廃棄物処理に関する3件の講演会を予定しています。一般市民の参加も大歓迎です。お誘いのうえお申込みください。

メインテーマ

『減災連携活動に学ぶ ～南海トラフ大地震への備え～』

- 主催 : 一般社団法人 廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部
- 後援 : 中日新聞社
- 開催日 : 平成29年5月30日(火) [11時00分～18時00分]
* 定期総会 11時00分～11時30分
- 会場 : 名古屋大学減災連携研究センター「減災館」
* 会場への交通、地図は下記 URL をご参照下さい。

☆ 会場へのアクセス :

- ・ <http://www.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>
- ・ <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>

- 定 員 : 60 名程度 (先着順)
- 参 加 費 : 廃棄物学会会員 : 1000円、学生 : 500円、非会員 : 1500円
(当日、受付でお支払い下さい。)
- 交 流 会 : 市民フォーラム終了後、講師陣を囲んで行います。[18:00~20:00]
(於:名古屋大学内 レストランシェ・ジロー [徒歩5分]) (交流会会費:4,000円)
- 参加申込方法 : 別紙参加申込者にご記入のうえ事務局宛ご返信ください。

プ ロ グ ラ ム

平成 29 年 5 月 30 日 (火)

於:名古屋大学減災連携研究センター 減災館

時 刻	内 容	概 要
11:00~11:30	定期総会 (別紙参照) 2 階会議室	
昼 食		
13:00~13:15	開会挨拶	廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部 支部長:伊藤 秀章 氏
13:15~13:30	センター紹介	名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山 修久 氏
13:30~14:50	見 学	体感・体験による市民に開かれた学びの場である減災館の見学。 1F 減災ホールにてギャラリートークに参加。振動再現装置 BiCURI で、熊本地震での震度 7 や高層建物の中で巨大地震に遭遇した時の 揺れを再現後、減災ギャラリーで地震被害を体感、2F 調べ・学習の ゾーンは、地震災害に関する歴史資料、古地図、ビデオ、新聞記事、 各地のハザードマップなどが充実。
15:50~15:00	休 憩	
15:00~15:50	講演 ①	講演「過去に学び総力を結集して大震災を克服する」 講師 名古屋大学減災連携研究センター長 教授 福和 伸夫 氏
16:00~16:50	講演 ②	講演「大規模災害への備えー資源循環・廃棄物処理の視点から」 講師 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 客員研究員 高田 光康 氏
17:00~17:50	講演 ③	講演「中部地方環境事務所における災害廃棄物対策」 講師 環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 課長 水原 健介 氏
17:50~18:00	閉会挨拶	廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部 副支部長:戸谷 満 氏
会場移動		
18:10~20:00	交流会	会場: レストラン シェ・ジロー